

令和5年度事業報告

第I はじめに

3年にわたるコロナ禍を乗り越えて、人的交流が活性化しており、ようやくコロナ前の日常が戻り、県下のシルバー人材センター（以下「センター」という。）においても従前の業務を行うことが可能となってきた。

こうした状況下、公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）においては、会員拡大を核に据えて、安全就業の推進、デジタル技術を積極的に活用した事務の効率化等を重点課題とした「令和5年度事業計画」に基づき、国・自治体並びに関係機関の理解と支援の下、センターと一体となって、事業に取り組んできた。

最重点課題としている会員拡大については、残念ながら会員の減少に歯止めがかからず、会員の高齢化や65歳までの継続雇用の定着、更には70歳までの雇用機会確保の努力義務を定めた改正高齢法の施行による雇用環境の変化やコロナ禍等の影響を受け、平成9年の連合会設立時の8,897人を下回る、8,763人（対前年比マイナス262人）と4年連続の減少となった。しかしながら、女性会員拡大を目的に県内センターの女性会員間の交流や情報共有を図る「やまぐちシルボヌ会議」を立ち上げたことも功を奏してか、女性会員は半数の7センターで増加し、県下の女性比率も回復してきている。このことは明るい兆しであり、令和6年度以降の会員拡大に向けての端緒となり得るものと期待できる。

一方、契約金額は、コロナ後の経済回復の影響により、前年度から増加し42億4,251万円（対前年比プラス6,868万円）となった。このうち派遣事業の契約額は、最低賃金の引き上げ効果もあり、6億7,697万円（対前年比プラス5,367万円）となり、請負契約金額の35億6,554万円（対前年度比プラス1,501万円）とともに契約額を延ばすことができた。

シルバー事業の要である安全就業については、誠に残念であるが、剪定作業中の会員が転落により亡くなる事故が起き、また、請負・委任事業の傷害事故は57件（対前年度比プラス7件）、損害賠償事故は過去最高の73件（対前年度比プラス4件）となっている。高齢化する会員の事故が多く発生している現状に改めて強い危機意識を持ち、『安全は全てに優先する』ことを再認識し、会員、役員、職員が一丸となり、安全対策の徹底を図ることが重要である。

県下センターにおけるデジタル化の推進については、会員への周知が進んでいないことから、令和6年11月に施行されるフリーランス新法への対応、その後の新たな契約方法に向け、デジタル技術の積極的な周知、活用が急がれるところである。

令和5年度の個別の事業実施状況は、以下のとおりである。

第Ⅱ シルバー人材センター事業

1 会員の拡大

組織強化のための最重要課題であることから、コロナ以前の水準に戻すこととする全シ協の第2次会員100万人達成計画に基づき、連合会の令和5年度目標の達成に向け、事業活動の普及啓発と併せて、入会促進、女性会員の拡大及び退会防止に取組み、魅力あるセンターを目指した。

(1) 女性会員の活動活性化と活躍事例の発信

「女性会員拡大に係る協議会」第2回を令和5年6月28日に開催し、女性会員拡大に係る協議体を『やまぐちシルボンヌ会議』と定め、定期的に会議を開催することを決定。10月には「やまぐちシルボンヌ活躍事例集」を作成配付し、3月13日にはイベント体験を目的として「おしごと説明会&ちひろスプリングコンサート」（連合会主催）に県下センターの女性職員及び女性理事が参加し、各センターの活動に活かすこととした。

(2) 会員拡大に資するデジタル化の推進

全シ協のデジタル整備促進事業によるサービス活用アドバイスを行った。

(3) 会員紹介報奨制度の年間活用実績 198件、制度開始後通算 789件

(4) 会員拡大検討チーム委員会開催

名称	開催日	内容
第1回	令和5年10月11日	① 会員アンケート調査結果について ② センターからの協議要望事項について
第2回	令和6年1月12日	① 会員アンケート調査結果について ② センターからの協議要望事項について ③ 全国女性代表者会議、シルボンヌ全国大会復命

(5) シルバーフレンドリーショップ制度の拡充 県下協力店118件

(6) 「魅力あるセンターづくりのための会員アンケート」を実施し分析結果を冊子データとして県下センター等に提供した。

(7) 関係行政機関の広報誌、地方紙及びマスコミを活用した広報の実施

山口県広報誌「ふれあい山口」11月号、2月号に会員募集広告を掲載した。

(8) アクティブシニア事業等他団体との連携

山口県主催「働き続けるための応援セミナー」（6会場）に協力しシルバー事業のPRを行った。

(9) 全国・県内の優良事例の発信に努めた。

2 就業機会の拡大

高齢者の多様な就業ニーズに対応するため、各センターと連携しながら就業機会の開拓・拡大に取り組んだ。

(1) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の推進

ハローワーク主催の合同面接会において就業相談コーナーを設けると同時

に参加企業に対しても PR を行った。

- (2) 諸団体等の会議を活用したシルバー事業の PR
山口県主催「働き方改革シンポジウム」の参加企業関係者 104 社 277 名にパンフレットを配付した。
- (3) 広域的な就業の需給調整及び就業開拓
企業向け出前説明会を個別に行い、昨年度に引き続き広域的な就業の遺跡試掘作業、また、エリア拡大となる教科書供給、新規のホテル厨房の仕事を開拓し受注に結び付けた。
- (4) 就業開拓に資するデジタル化の推進
全シ協のデジタル整備促進事業によるサービス活用のアドバイスをを行った。
- (5) 事業委員会の開催

名称	開催日	内容
第 1 回	令和 5 年 7 月 5 日	① 令和 5 年度事業の取組みについて ② 会員拡大及び就業機会拡大について ③ 高齢者活躍人材確保育成事業について ④ 適正就業について
第 2 回	令和 6 年 1 月 19 日	① 令和 5 年度事業の取組みについて ② 会員アンケート調査結果について ③ 令和 6 年度事業の取組みについて

3 安全就業の推進

シルバー事業において、会員の安全就業は基幹をなすものであり、重篤事故や傷害事故、損害賠償事故の撲滅を図ることが肝要である。「安全は全てに優先する」との理念のもと、事故のない安全な就業の徹底を目指し、安全パトロール等を実施した。

- (1) 安全委員会の開催

名称	開催日	内容
第 1 回	令和 5 年 5 月 23 日	① 令和 4 年度事故状況について ② 安全就業優良シルバー人材センターの選定について ③ 令和 5 年度安全就業推進大会について
第 2 回	令和 5 年 7 月 7 日	① 令和 5 年度事故状況について ② 令和 5 年度安全パトロールの実施について ③ 令和 5 年度安全就業推進大会について
第 3 回	令和 6 年 1 月 23 日	① 令和 5 年度事故状況について ② 令和 5 年度安全就業パトロールの実施結果について ③ 令和 6 年度事業の取組みについて

- (2) 安全パトロールの実施

連合会安全委員が安全就業推進のため、作業現場のパトロールを以下の 6 センターで実施、パトロール終了後、安全就業等について意見交換を行った。

(2) 受注リスト点検（疑義件数 55 件）

5 労働者派遣事業の推進

労働者派遣事業（以下「派遣事業」という。）の適正な推進を図るため委員会、会議、研修会、情報提供及び指導助言を通じて、派遣事業の実施事務所と連携し、就業機会の拡大及び適正就業を進めるとともに、派遣事業に係る統括管理（労働者派遣基本契約、入金管理・賃金支払等の会計管理及び行政への各種報告等）を行った。

(1) 派遣事業実績

項目	令和4年度	令和5年度	対前年度比
受注件数（件）	691	744	107.7%
契約金額（千円）	623,292	676,967	108.6%
就業実人員（人）	1,060	1,123	105.9%
就業延人員（人日）	114,680	121,549	106.0%

(2) 派遣委員会の開催

名称	開催日	内容
第1回	令和5年7月12日	① 派遣事業実績について ② 派遣事故発生状況について ③ 教育訓練について ④ 派遣担当者研修会の開催について ⑤ 適正な事業運営について
第2回	令和6年1月30日	① 令和5年度派遣事業の取組みについて ② 令和6年度派遣事業の取組みについて

(3) 派遣担当者研修会

開催日 令和5年10月31日

場 所 県土連ビル

講 義 「派遣事業相談・指導等の事例に学ぶ」

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

業務部指導第二課長 木村 賢治 氏

参加者 24名

(4) 派遣事業所との連携による適正な事業運営の実施

(5) 派遣労働者に対するキャリアアップのための教育訓練を実施

10月20日～11月30日 12会場 208名受講

テーマ「働くあなたの健康管理」

(6) 派遣元責任者講習会への参加 参加者 15名（山口県連合合計）

6 職業紹介事業の推進

職業紹介事業の実施事務所と連携し、臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する求職者に対して、適正かつ適切な職業紹介を

行うとともに、職業紹介事業に係る統括管理（契約書の管理、会計の管理、行政への実績報告等）を行った。

- (1) 有料職業紹介事業の適正な事業運営 紹介実績 5件
- (2) 有料職業紹介事業責者講習会への参加 参加者7名（山口県連合合計）

7 高齢者活躍人材確保育成事業

山口労働局から受託した高齢者活躍人材確保育成事業を活用し、一般の高齢者や企業に対しテレビ、新聞等にて、センターを積極的に周知・広報するとともに、説明会、就業体験、技能講習を開催した。

事業目標の新規会員数181人以上に対し、282人の新規入会者があった。

- (1) 一般高齢者向け会員募集、シルバー事業の周知・広報（新規入会者240人）
パンフレット作成配付（1,500部）、テレビCM180回、新聞広告2回、
新聞折込2回、市町広報誌広告等9回、地域情報誌広告掲載59回
- (2) 仕事説明会
一般高齢者対象8回「おしごと説明会&ちひろスプリングコンサート」他
企業対象3回
- (3) 就業体験9回（新規入会者14人）

体験内容	回数	開始者数	新規 入会者数
庭園維持管理	1	5	1
調理補助業務	1	7	4
公園維持管理(低木剪定)	1	2	2
縫製作業	1	4	1
子育て支援業務	1	4	0
施設清掃業務	1	4	3
剪定作業	1	4	0
公園維持管理(機械除草)	1	2	2
金魚ちょうちん製作	1	5	1
合計	9	37	14

- (4) 技能講習16回（新規入会者28人）

講習名	回数	開始者数	新規 入会者数
介護サポート講習	4	42	9
ハウスクリーニング講習	1	8	2
スマホ講習	1	8	1
剪定講習	6	51	12
刈払機取扱講習	4	26	4
合計	16	135	28

8 普及啓発活動の推進

シルバー事業の意義、理念・仕組みの理解及び事業活動等を広く県民に周知するとともに、事業活動への参加及び協力を求めるため、県内全域で効果的かつ効率的な普及啓発活動を行った。

- (1) 普及啓発月間(10月)に合わせ「やまぐちシルボンヌ活躍事例集」(全12ページ、1,450部)を作成配付(第Ⅱの1の(1)再掲載)
- (2) 連合会会報「連合会やまぐち」を年2回、9月と1月に発行(500部×2回)
- (3) 「山口県広報誌(ふれあい山口)」11月号と2月号に会員募集広告を掲載(第Ⅱの1の(7)再掲載)
- (4) 県立図書館にポスターを掲示
- (5) 会員募集及び企業向けPRの看板を新山口駅に掲示
- (6) ラジオ番組「ヤスベエの人生100歳満点!」に協賛し、会員及び職員が番組に出演し、延べ4回、シルバー事業等のPRを行った。
- (7) 山口県主催「働き方改革シンポジウム」の参加企業関係者104社277名にパンフレットを配付した。(第Ⅱの2の(2)再掲載)
- (8) 連合会ホームページでのシルバー事業の周知、普及啓発の実施
- (9) 連合会、センター名を掲載した「カレンダー」の作成
- (10) シルバー事業運営状況の作成、配付(220部)
- (11) 山口県主催「働き続けるための応援セミナー」(6会場)に協力しシルバー事業のPRを行った。(第Ⅱの1の(8)再掲載)
- (12) 「おしごと説明&ちひろスプリングコンサート」(3月13日開催、参加者172名)と同時開催の展示販売「マルシェドシルボンヌ」会場において、女性会員の活動紹介や就業相談を行った。

9 調査研究の実施

シルバー事業を発展・拡充するため、高齢者の雇用・就業ニーズや社会経済の変化に適合したシルバー事業に必要な分析等を行った。

- (1) 「魅力あるセンターづくりのための会員アンケート」を実施し分析結果を冊子データとして県下センター等に提供した。(第Ⅱの1の(6)再掲載)
- (2) シルバー事業運営状況の作成、配布(220部)(第Ⅱの8の(10)再掲載)
- (3) 各シルバーの事業実績の収集、集計分析及び情報提供
- (4) 各シルバーの事故状況の収集、集計分析及び情報提供

10 指導相談・研修事業等

地域社会のニーズや制度改正等に的確かつ円滑に対応した事業を実施することができるよう、指導・助言、情報提供、研修等を行った。全国シルバー人材センター事業協会主催のオンライン会議への参加を勧めた。

(1) 職員研修会

開催日 令和5年9月27日

場 所 県土連ビル

講 演 ①「フリーランス保護法制の制定を背景としたシルバー人材

センターの新たな契約方法について」

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

業務部長 石原 亘 氏

参加者 48名

(2) 会計経理担当者研修会

開催日 令和6年2月27日

場 所 県土連ビル

講 義 「補助金実績報告及び交付申請に係る留意点」

公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会

主 任 宮川 千明

意見交換 テーマ1「新たな契約方法について」

テーマ2「経理業務の疑問点等」

参加者 26名

(3) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会の会議、研修会への参加

開催日	研修会・会議	出席者数	
		連合会	センター
① 令和5年5月26日	都道府県連合事務局長会議(第1回)	1	—
② 令和5年6月12日-6月23日	シルバー事業情報交換会議 ※	7	63
③ 令和5年8月14日-8月27日	会員拡大・就業開拓担当者会議 ※	4	71
④ 令和5年8月22日-23日	新任事務局長研修(第1回)	—	1
⑤ 令和5年9月7日-8日	新任事務局長研修(第2回)	—	3
⑥ 令和5年10月5日	都道府県連合事務局長会議(第2回)	1	—
⑦ 令和5年10月20日	新任理事長研修(第1回)	—	1
⑧ 令和5年12月6日	会計・税務処理訪問コンサルティング	3	38
⑨ 令和6年1月25日	都道府県連合事務局長会議(第3回)	1	—
⑩ 令和6年2月5日-2月26日	安全就業指導員会議 ※	3	93
⑪ 令和6年2月13日-14日	中堅職員研修	1	2

※ オンライン配信

(4) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会特別指導

山口県シルバー人材センター連合会 (令和5年11月2日)

光市シルバー人材センター (令和5年11月1日)

(5) 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会(連合会事務局長が委嘱)個別指導

① 令和5年8月18日	岩国市 SC
② 令和5年8月22日	萩広域 SC
③ 令和5年8月29日	防府市 SC
④ 令和5年8月31日	山口市 SC

(6) 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会

役職員研修会

開催日 令和5年10月24日～令和5年10月25日

場 所 米子コンベンションセンター
基調講演 「事業改革を進めるために」
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
会 長 金子 順一 氏
講 演 「組織運営の合理化とコストカットの手法」
公益社団法人八代市シルバー人材センター
常務理事 松村 克法 氏
講 演 「インボイス後の消費税の具体的な仕訳事例」
「令和7年施行予定新たな公益法人制度の内容について」
衣目公認会計士・税理士事務所
所長 公認会計士・税理士 衣目 成雄 氏
参加者 43名（山口県連合全体）

(7) 全国女性代表者会議（開催事務局）

開催日 令和5年11月16日～令和5年11月17日
場 所 KDDI 維新ホール 会議室 他
講 演 「シルバー人材センターのこれから」
公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
事務局長 吉野 彰一 氏
事例発表 「女性会員拡大の取り組みについて」
公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会
公益社団法人仙台市シルバー人材センター
会長・理事長 白川 由利枝 氏
事例発表 「生涯現役を目指すシニアのために」
公益社団法人朝来市シルバー人材センター
常務理事兼事務局長 下口 光子 氏
分科会・視察研修(防府市シルバー人材センター 子育てサロン、交流サロン)
参加者 43名(全国より)

第Ⅲ 法人管理事業実施

1 令和5年度の事業実施状況

「第4次中期基本計画」及び「令和5年度事業計画」に基づき、県内各シルバー人材センターと緊密な連携のもと、積極的に事業を推進してきた。

結果として、会員数は8,763人（対前年度比マイナス262人）となり、4年連続の減少となった。「契約金額」においてはコロナ感染症と派遣先事業所の定年延長の影響を受けつつも、前年度を上回り、42億4,251万円（対前年度比プラス6,868万円）となった。

全シ協の第2次会員100万人達成計画に基づく、第4次中期基本計画の目標値と実績を比較した達成率は下表のとおり、すべての項目において未達成となった。

項目	目標	実績	達成率
会員数	10,046人	8,763人	87.2%
粗入会率	1.9%	1.7%	89.5%
就業実人員	8,235人	7,455人	90.5%
就業延人員	889,336人	806,066人	90.6%
契約金額	4,313,537千円	4,242,505千円	98.4%

2 会議の開催状況

「令和5年度事業計画」に基づき、連合会の運営及び各シルバーとの連携について協議し、事業を推進するための「総会」、「理事会」のほか、各種会議（研修会）を開催した。

(1) 総会「令和5年度定時総会」

開催日 令和5年6月20日

場 所 県土連ビル

報告事項 ①令和4年度収支予算書補正報告の件

②令和5年度事業計画報告の件

③令和5年度収支予算書等報告の件

決議事項 ①令和4年度事業報告承認の件

②令和4年度決算報告承認の件

監査報告

③役員報酬等及び費用に関する規程改正の件

④役員選任の件

その他（連合会長表彰）

・シルバー人材センター事業貢献役員

公益社団法人 宇部市シルバー人材センター 理事長 利重 和彦

公益社団法人 宇部市シルバー人材センター 理事 岡崎 徐磨

公益社団法人 下関市シルバー人材センター 理事 竹田 賢海

公益社団法人 防府市シルバー人材センター 常務理事 田中三輪子

公益社団法人 山口市シルバー人材センター 理事 竹谷 勉

公益社団法人 萩広域シルバー人材センター 理事 堀永 孝春

公益社団法人 光市シルバー人材センター 監事 山本 義人

公益社団法人 柳井広域シルバー人材センター 理事 岩谷 昇平

公益社団法人 美祢市シルバー人材センター 理事 藤井 繁夫

公益社団法人 長門市シルバー人材センター 監事 杉村 京子

・シルバー人材センター事業貢献職員

公益社団法人 岩国市シルバー人材センター 総務担当 片野智恵子

公益社団法人 長門市シルバー人材センター 総務係長 藤井 純子

・優良シルバー人材センター

公益社団法人 宇部市シルバー人材センター

・安全就業優良シルバー人材センター
公益社団法人 山口市シルバー人材センター

(2) 理事（役員）会

名称	開催日	内容（決議事項等）
第1回	令和5年6月5日	①令和4年度収支予算書補正の件 ②令和4年度事業報告承認の件 ③令和4年度決算報告承認の件 ④令和5年度収支予算書補正の件 ⑤役員選任の件 ⑥旅費規程改正の件
臨時	令和5年6月20日	①専門委員会(総務委員会)委員の選出について
第2回	令和5年9月22日	①令和5年度収支予算書補正承認の件
第3回	令和6年2月16日	①令和5年度収支予算書補正の件 ②令和6年度役員賠償責任保険契約の件
第4回	令和6年3月22日	①令和5年度収支予算書補正の件 ②令和6年度事業計画承認の件 ③令和6年度収支予算書等承認の件 ④令和6年度定時総会招集の件 ⑤重要な職員(事務局長)の選任の件

(3) 総務委員会

名称	開催日	内容
第1回	令和5年5月24日	①監事監査について ②令和5年度理事会・定時総会について
第2回	令和5年6月20日	①専門委員会委員選任について
第3回	令和5年9月8日	①理事(役員)会について ②連合会行事予定について ③女性会員拡大の取組みについて ④インボイス対応に関して ⑤令和6年度概算要求について ⑥会員アンケートについて
第4回	令和6年2月2日	①令和6年度連合会事業について ②理事(役員)会について ③契約方法の見直しについて ④会員アンケート結果について ⑤連合会職員の待遇について
第5回	令和6年3月8日	①理事(役員)会について ②令和6年度連合会行事予定について ③各センター総会について

(4) 事務局長会議

名称	開催日	内容
第1回	令和5年6月15日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項
第2回	令和5年10月13日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項
第3回	令和6年2月6日	①「都道府県シルバー連合事務局長会議」伝達 ②山口県連合会連絡事項

(5) 各種会議（研修会）

①職員研修会

開催日 令和5年9月27日

場 所 県土連ビル (第Ⅱの10の(1) 再掲載)

②会計経理担当者研修会

開催日 令和6年2月27日

場 所 県土連ビル (第Ⅱの10の(2) 再掲載)

3 シルバー事業支援要請活動の実施

超高齢社会において、センターが就業機会の確保・拡大するための機能の充実を図り、地域ニーズ・政策方針に十分な対応ができるよう、補助金と公共事業の確保について支援要請活動を行った。

要請日 令和5年7月18日

「地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望」

要請先 山口県、山口県議会、山口県市長会、山口県町村会

要請者 会長、常務理事、総務委員(2名)